



KAMEDAJIMA

| はにかむエブリデイ | 亀田の郷の縞だより

令和5年

006

「はにかむ」=しょしがり(はずかしがり)な亀田の人々、「ハニカム」=自然界に存在する丈夫で美しい亀の甲羅の構造。

強くて優しい亀田縞と、この地にくらす人々をイメージしています

亀田縞利用促進協議会



Person

佐藤 高広さん

咲花温泉 阿賀のめぐみ望川閣 代表取締役



2020年にニューオープンした「寛庵(くつろぎあん)」。離れ宿風の入口は脱日常へのアプローチ。2部屋を用意。シモンズベッドを使用、パリアフリーに対応。



平成23年7月新潟・福島豪雨から見事な復興を遂げた咲花温泉・望川閣。犬と泊まれる温泉宿としても人気(寛庵は宿泊不可)。

咲花温泉 阿賀のめぐみ望川閣

■住所／新潟県五泉市佐取2869

女将の小林園子さんの祖母は亀田出身。おばあさんが亀田縞を身につけて作業を行う光景も記憶にあり、自身もエプロンなどを愛用している。そこで生地を作っている織元へ足を運び、デザイナーや施工業者と相談して使用する柄をチョイス。ベッドスローの柄は女将も気に入つて使用している柄で、中営機業の代表的な縞模様と聞い

代表取締役の佐藤さんが特別な客室を作りたいと考えていたところ、女将から亀田縞を使ってはどうかと勧められたことが誕生のきっかけとなつた。「新潟の伝統を現代的な空間に取り入れる女将の提案は、とても魅力的でした」

伝統を取り入れることによつて、新潟の素晴らしさをお伝えする機会になればと思います」使つてはどうかと勧められたことを誕生のきっかけとなつた。女将の小林園子さんの祖母は亀田出身。おばあさんが亀田縞を身につけて作業を行う光景も記憶にあり、自身もエプロンなどを愛用している。そこで生地を作っている織元へ足を運び、デザイナーや施工業者と相談して使用する柄をチョイス。ベッドスローの柄は女将も気に入つて使用している柄で、中営機業の代表的な縞模様と聞い

「今後は、現在の雰囲気を大切にしながら季節によつて展示を変えていくことを考えています。部屋の模様替えなどを行なながら、この客室を気に入つて、何度も訪れてくれるリピーターに新鮮な雰囲気をお届けしていきたいですね」

佐藤さんは、亀田縞で季節を彩る夢を笑顔で語つた。

いよいよ行楽シーズン。今は江南区から足を伸ばし、見どころ満載の秋を迎える美肌の湯 咲花温泉からのご紹介。

てますますお客様に紹介するにふさわしいと考えた。

阿賀野川の絶景とともに美しい三色の温泉を楽しめる望川閣は、亀田縞を内装に利用した和モダンの客室「寛庵(くつろぎあん)」を用意して、上質な癒しのひとときを訪れる人々に提供している。

「寛庵」はコンパクトながら美術館の一角を思わせる客室にリニューアルされると、利用したお客様からの評判も良く、人気を集め客室となつていています。

高級感あふれる空間を実現
部屋のデザインに亀田縞をあしらつて

特集

ニユーカマーが登場 まちに亀田縞の仲間が増えました

亀田縞利用促進協議会では、2023年「亀田縞を活かした空間づくり」の取り組みを募集し、事業に対して経費の一部を補助しました。秋の行楽シーズンもスタートし、いよいよそれぞれの取り組みが始まりました。さっそくご紹介します。



副社長の鈴木さん。「自由な詰め合わせギフトも可能です。地元の美味しいものを県外にも知ってもらいたいです。」

「カメダジマストア」は織元の製品と、個性豊かな亀田縞衣類のセレクトショップ。店内には亀田縞の歴史などのパネルもあり知識も学べる。

亀田の特産物が集結 衣食セレクトショップが誕生

その1 おみやげショップ



10月3日にオープンを迎える江南区の特産物が集合したお土産ショップ。2棟ある建物の一室は、地元の人気飲食店や食品会社の逸品をチョイスして一堂に揃えた「亀田いっぴん市場

をチョイスして一堂に揃えた「亀田いっぴん市場」。総菜もおやつもここ一ヵ所でピックアップできても便利。自分で選んで詰め合わせギフトにもできる。

一方の棟は亀田縞商品を集めた「カメダジマストア」。立川織物・中営機業2社の製品と、店長がチョイスした亀田縞クリエイターたちの衣類が並ぶ。店内に軽に相談してみたい。

一方の棟は亀田縞商品を集めた「カメダジマストア」。立川織物・中営機業2社の製品と、店長がチョイスした亀田縞クリエイターたちの衣類が並ぶ。店内に軽に相談してみたい。

亀田いっぴん市場 満開堂 /
カメダジマストア
■住所/新潟市江南区亀田中島2-1-5
■電話/025-311-4111
■営業時間/10:00~18:00(不定休)

リーズナブルとこだわりが共存
のんびりくつろぐ穴場カフェ

その3 カフェベース

利用できる公共施設内でコーヒーは150円、
珈琲(カフェ)が8月にオープン。いつでも気軽に

はにかむ 機屋だより

中営機業(有)

新潟県の長寿お祝いに
亀田縞扇子が選ばれました

新潟県の敬老事業のお祝い記念品に当社の亀田縞の扇子が採用されました。今年県内で100歳を迎える方は約1200名とか。ますますお元気にお過ごし下さい。今回選ばれた理由としては、亀田縞が幸せを願う吉祥の縞模様であること、皆さんに親しみがあり懐かしさを感じてもらえること、そして使っても飾ってもよい品だったことなどをお聞きしました。今年はとにかく暑い夏でしたね。亀田縞の扇子が涼をお届けできれば嬉しいです。

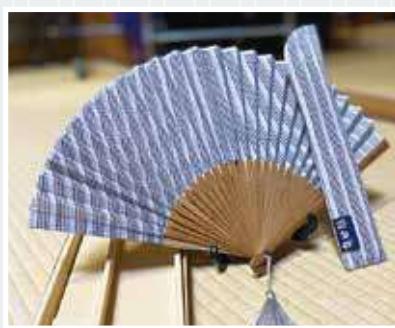


中林 恵利子さん

今月のイチ押し!

薄地 NK105-2

今回納めたのは薄地NK105-2という極細格子と4本縞を織りこんだ縞柄です。小物の他、夏のシンプルなシャツやブラウスの仕立てにもおすすめです。



中営機業(有) 新潟市江南区曙町1-8-18 | TEL.025-381-5163

大正12年創業。縞縞で織り進めるため丈の長い浴衣や着物なども得意。亀田縞の素朴で優しい風合いを生かし、綿、ちぢみ、綿麻、ガーゼなどバリエーション豊富。

亀田縞の2軒の機屋のご主人へよもやまインタビュー。
個性豊かな縞柄を生み出す2人の人柄にふれてみよう、というコーナーです。

今月の
テーマ

最新ニュース

立川織物

カスタマイズできるオリジナル
世界にひとつを持つよろこびを形に

自由にカスタマイズできる亀田縞バッグを考えました。五線譜に見立てた横縞に、お好きにボタンやフェルトで音符をあしらえれば世界で一つのオリジナルバッグになります。先日新潟大学のフィールドスタディーズの研究発表で「亀田縞で自分だけのオリジナル品を作れるといいな」という話があり、10数年前にサンプルだけ作って終わった童話作家さんとの仕事を思いだしたのです。今までにない楽しい亀田縞に我々もワクワクしています。



立川 治秀さん

今月のイチ押し!

五線譜トート



立川織物 新潟市江南区袋津3丁目1-52 | TEL.025-381-3067

迷路のまち、袋津の一角にある明治17年創業の機屋。横縞で織り進めるのが特徴で、通常の亀田縞より粗野感のある太めの糸で織りあげる。スペック染を行います。



▲紺は立川織物、えんじは中営機業の亀田縞。南向きの花屋は管理がたいへんと言われるが、タペストリーのおかげで直射日光を避けられる利点も。

こだわりは内側にも亀田縞の印を入れたこと。カラフルな季節の花々ともナチュラル系グリーンともよく似合う。



贈り物の花束やペットのメモリアルグッズなど、お客様の気持ちに寄り添ったフラワー・アレンジメントが人気の花のきむら。亀田駅前に位置する同店の店頭に、この夏新しく亀田縞のタペストリーが掲げられ、行き交う人々の心をほつと和ませている。布地は社長が一番気に入っている色柄をチョイスした。「すつきりと、でもかなり度胸が必要な色の組み合わせでしたが、

その2 タペストリー 気ぜわしさを和ませる 2色遣いのタペストリー



「今後はECサイトを充実させて亀田縞の商品化で連携していかたい」と木村社長。

花のきむら

■住所／新潟市江南区東船場3-2-6
■電話／025-381-1806
■営業時間／9:00～18:30(日曜定休)

現在胡蝶蘭とセット販売している亀田縞の風呂敷と同じ縞柄です。毎日行き交う人たちがタペストリーに目を留めてくれるのが嬉しいのだとか。



店内にはミシン工房も。お揃いのエプロンユニフォームが完成したばかり。



館長の新井さん(左)と
勝山さん。



▲グリーンを配置した寛ぎ空間。現在は全体の雰囲気を具体化し始めた段階。亀田縞の布地で壁やインテリアを作り上げていく予定。



サンドイッチセット▶
(火・水曜)、ランチボックス(木～日曜)
共に500円(アイス
コーヒー550円)。



日替わりサンドイッチやランチボックスもりりズナブルとあって、すでにファンも多い。ベビーカーでのんびり利用するママたちや隣接する入浴施設から毎日通う人も。また健康志向に注目し酵素ジュースやノンシュガーロー糖質チョコレート、焼き菓子を地元のお店から仕入れるなどこだわりがいっぱい。運営している、環境をサポートする(株)きらめきは県内各地の施設管理を行う会社で、地域性の強いカフェを目指した。亀田縞による店内装飾の完成は3月予定。亀田縞の製作工程の展示や商品販売も予定しているので乞うご期待。

NEWS & INFO

新商品やイベントのお知らせ、プレゼントなど地域の情報を随時募集中!
内容の問合せはすべて亀田縞利用促進協議会広報部へ。

上手くできたかな 亀田縞でうちわづくり

8月2日、亀田東小学校にて亀田縞うちわづくり体験を行いました。亀田縞利用促進協議会と亀田東小学校区コミュニティ協議会との共催で開催され、当日々22組の親子が参加。生地をカットして接着剤でうちわに張り付け縫取りを飾ると、どこにも売っていないオンラインリワードのうちわがたくさん出来ました。



新潟手帳の表紙に亀田縞が登場 来る年の準備はお早めに

2024年版新潟手帳の表紙に今年も立川織物の亀田縞が採用されました。シンプルなサックス地にポイントカラーの赤のラインが入ったモダンな柄で持ち歩きたくなるデザイン。手帳は年の瀬に探しても見つからない事が多いもの。早めにキープして来年に備えては。県内書店・コンビニで販売中。1430円。



今年で13回目 わく灯籠まつり

すっかり亀田の風物詩となった「わく灯籠」まつり。8月20日から9月3日までわく灯籠が亀田排水路公園や亀田駅を飾りました。最終日は亀田市民会館でイベントが行われ、今年は「ねこちゃん譲渡会」「はたらくるるま大集合」など盛りだくさんの新企画が登場し、集まった皆さんも楽しそうに過ごしていました。



亀田縞をもっと暮らしに取り入れて。 “亀田しましまプロジェクト”スタート

亀田縞工業協同組合では、気軽に亀田縞を生活に取り入れながら、その特徴や歴史、古きよき日本の良さに親しんでもらうプロジェクト「亀田しましまPJT」をスタート。くらしに身近な知育体験グッズが中心で2社の織元の多彩な縞柄から自由に布地をチョイスできる。今後もシリーズ展開する。商品の詳細は亀田縞公式HPと公式インスタグラム(アカウントkamedajima_kamedajima)を要チェック。フォローお願ひします。

和綿を育てようキット550円(税込)

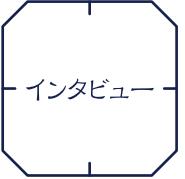


むかし亀田郷は綿栽培の北限地で、自分たちで糸を紡いで機を織り野良着を作っていたのが亀田縞の始まりと言われています。今も亀田のあちこちに黄色い綿花が咲いたりふわふわの綿の実が揺れいたら素敵なのに…。そこでコットンボールの種まきセットを作りました。ミニ巾着は機屋の端材で作るからサイズも形もいろいろ。私たちの取り組みや綿の育て方、巾着の使い方は中のレシピを参考に。

しまねこアイピロー550円(税込)



亀田縞の独特な風合いや、その縫いやすさは肌にふれればすぐに気づいてもらいます。そこで実際にちくちく体験して作れるリラックスグッズを開発。なみ縫いだけで作るからとってもかんたん。2社のさまざまな色柄からチョイスして。ちくちくあそびシリーズ、しましま動物シリーズは今後も続々登場! お楽しみに。



亀田縞と同じく、永くこの地で活躍されている
諸先輩を知るコーナーです。

先覚に訊く。

目指すのは愛と絆のコミュニティづくり

平成28年の設立から曽野木地区コミュニティ協議会の会長を務める桜田博治さん。曽野木コミュニティセンターの管理運営にも携わるなど、地域のための活動を行っています。

—新潟市の下町出身とお聞きします

生まれ育ったのは本町14番町です。日和山浜海水浴場が近く、夏休みはずっと海に居っぱなしでした。野球に熱中して小学校からピッチャーを続け、新潟工業高校の野球部に入部しましたが、一年生の時に怪我をして野球をやめました。卒業後、生コンやセメントを扱う商社に入り、縁あって全国的な道路会社に転職。退職後、64歳からボランティア一本です。

—大きな災害を経験されたそうですが

昭和30年、中学一年生のときに新潟大火を経験しています。大和デパートが燃えているのを見に、近くまで行つたことを覚えていました。昭和39年の新潟地震はバイクに乗つて、昭和大橋を渡ろうとしたそのときに地震が発生。最初はめまいかと思ったのですが、道路に亀裂が走り、水道管が破けて噴水のようになる光景を見て、これはたいへんだと感じました。そのときは近くの白山小学校の子どもたちと一緒に空き地に避難しました。

—地域の活動で力を入れていることは

やはり安全・安心です。協議会の安全・安心部会関連では避難所運営委員会の確立が課題になっています。最近完成した天野河川防災ステーションでは地域の要望を提出しました。地域の目標として「愛&絆」を大切にしていますが、それは「郷土愛」と「関心をもつて助け合う住民の心」を表現しています。コロナ禍も収まってきた今、お祭りなど協議会のイベントで、地域住民が顔と顔を合わせる場を創り、地域の交流を深めていきたいです。

—いろいろな趣味をお持ちと聞いています

一人旅が好きでJRの「大人の休日俱楽部」を利用して、ローカル線を行き当たりばつたりで旅をするんですよ。もう日本中だいたいまわったと思いません。それに家族全員、麻雀が打てるので正月などみんなで集まるときには、よく楽しんでいます。徹夜になることもありますね。料理も好きで山芋やアスパラを肉で巻いて揚げる料理が得意です。

お気に入りの亀田縞

亀田縞の公式サイトではみなさんの亀田縞の作品を募集中。洋服、アクセサリーやバッグなど。デザイナー、作家さんの作品から、街で買った、自分で作った、お気に入りの亀田縞を教えてください。昔の物でも今の物でもOK。ご応募お待ちしています!

■投稿はこちら

<https://kamedajima.net/showcase>

秋景色に映えるバイカラーの着物

着物が好きなご夫婦がチョイスした布地はあずき色ベースの2柄。布を片身ずつ使用する『片身替わり』で仕立てるのが奥様の夢だったとか。ふだんから着物を着るので気軽に洗濯できる綿素材もお気に入りの理由。立川織物のからみ織ストールの肌触りも気に入っているのだそう。地産地消の面からも親しみを感じていて「大事にしたいと思ったら自分が使っていくのがいちばんですね」。趣味の手芸の腕を生かして亀田縞でないぐるみも手作りされています。



小柴利宏さん・美樹さん。片身替わりの着物からお二人の愛を感じます。カメラうらやま～。

KAMEDAJIMA



江戸時代後期、当時日本最北の木綿栽培地だった新潟県の亀田郷で、腰まで泥につかる過酷な米作りを支えるため、丈夫で汚れに強く、しかも美しい縞柄の綿織物「亀田縞」が誕生しました。大正期にかけて全盛期を迎えた亀田縞は、時代の変遷で一度は途絶ましたが、消滅から半世紀を経て、現在も残る2軒の機屋により復活しました。従来の素朴であたたかい風合いと丈夫さに加え、特色である独特の肌ざわりのよさ、現代生活になじむしなやかさを兼ね備えた布として注目されています。



提供:亀田郷土地改良区／撮影 本間喜八氏

はにかむ編集後記

先日のバスケットボールワールドカップ。最後まで諦めない、ひたむきに走り続けポールを追う姿に多くの人が感動したことと思います。そんな熱狂の夏が過ぎて秋到来。スポーツ・文化・食欲・読書…様々な秋。亀田縞を学び始めて半年になる私にとって、衣服からバッグ・小物入れ・扇子・財布、更にはふるさと納税まで、形を変えて様々な顔を持つ亀田縞はまさに秋のようです…。皆さんはどの秋が好きですか？ そしてどの様な亀田縞がお気に入りですか？ぜひ聞かせてください。(スタッフ新人A)

亀田の郷の縞だより はにかむエブリディ006

■発行：亀田縞利用促進協議会／亀田縞工業協同組合

〒950-0134 新潟市江南区曙町3-6-1 TEL.025-381-4105 公式サイト <http://kamedajima.net/>

■初版発行：2023年9月30日 ■企画編集：パクチープラス 佐藤洋子 酒井祐介 石井達

Blogも更新中!

亀田縞通信はにかむエブリディ
<https://kamedajimashimashima.jimdo.com>

Instagram | @kamedajima_kamedajima

Facebook | 亀田縞-kamedajima

